

市原市

市原発サーキュラーエコノミーの創造 ～2050年カーボンニュートラルの実現と持続的発展の両立～ (実施期間：2022～2030)

技術テーマ区分番号：⑱

主な実施場所：市原市

取組活動の内容

事業目的・概要

● 経緯・背景など

市原市は、臨海部にある国内最大級の石油化学コンビナートの成長と共に発展してきた。同産業は、カーボンニュートラル実現に向けた対応を進めているが、個社単位の活動には限界があり、業界を超えた連携が必要。

その実現に向けた選択肢の1つである資源循環、サーキュラーエコノミーの定着には、社会経済の構造転換を伴うため、自治体や地域との連携が不可欠。

● 方針・アプローチなど

主に食品包装容器として用いられるポリスチレンについて、市内の臨海部企業のケミカルリサイクル技術と行政・市民の取組等を融合させ、「素材から製品、製品から素材へ」をコンセプトに、「サーキュラーエコノミーの市原モデル」を創出し、循環型社会の発展、及び新たなビジネスチャンスの創出につなげることを基本的な方向性として取り組む。

具体的には、使用済みポリスチレンの回収について連携することで資源循環の仕組み作りに取り組むとともに、啓発活動を通じて社会への定着を図る。

● 期待される効果・今後の課題や展開など

次の①②により、企業・市民・行政が一体となって資源循環の好循環を生み出す、「サーキュラーエコノミーの市原モデル」を創出する。

- ① 市民と行政の協力によってケミカルリサイクル原料の安定調達を実現し、企業の資源循環事業の安定操業を支援する。
- ② 啓発活動を通じ、コスト上昇が環境価値として受容される社会風土の形成や、分別など市民の主体的な協力等につなげる。

連携実施者

□ デンカ株式会社 × 東洋スチレン株式会社：ポリスチレンのケミカルリサイクル

関連外部リンク先

- 市HP
<https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=60237233ece4651c88c1808f>
- 市原市SDGs戦略
<https://prdurbanosichapp1.blob.core.windows.net/common-article/60237233ece4651c88c1808f/ichiharaSDGsmiraitosikeikaku+%281%29.pdf>

イメージ図



図1：2021年度自治体SDGsモデル事業概要



図2：ポリスチレンケミカルリサイクル循環モデル図（出典：東洋スチレン株）

公的資金の活用状況

- 令和3年度 内閣府 地方創生支援事業費補助金 16,099千円
- 令和4年度 内閣府 地方創生推進交付金 9,952千円